

局所等長写像が測地線を保存することの証明

人はそれを自明という

# 1

注意 1.1. 接続は全てレビチビタ接続を採用する.

定義 1.2. (局所等長写像).  $(M, g_M)$  から  $(N, g_N)$  への局所微分同相写像  $f$  で,  $f^*g_N = g_M$  をみたすものを, 局所等長写像という.

定義 1.3. (等長写像).  $(M, g_M)$  から  $(N, g_N)$  への微分同相写像  $f$  で,  $f^*g_N = g_M$  をみたすものを, 等長写像という.

命題 1.4.  $f : (M, g_M) \rightarrow (N, g_N)$  を局所微分同相写像とする. このとき, 任意の点  $p \in M, f(p) \in N$  のまわりの座標近傍  $U, V$  で

$$df_q \partial_{i_q} = \delta_{i_{f(q)}} \quad (\forall q \in U)$$

を満たすものが存在する. ただし,  $\partial_{i_i}, \delta_{i_i}$  はそれぞれの局所座標の第  $i$  成分に関する偏微分により定まる接ベクトルである.

証明. 実際,  $p$  の周りで微分同相な開集合のペアを  $U, V$  とする.  $U$  における局所座標写像を  $(x^1, \dots, x^n)$  とする. このとき,  $V$  に対しては座標を  $(x^1 \circ f^{-1}, \dots, x^n \circ f^{-1})$  で定める. すると,  $N$  上の滑らかな実数値関数  $F$  に対して

$$\delta_i F = \frac{\partial F \circ f \circ \varphi^{-1}}{\partial x^i} \varphi \circ f^{-1} = (df \partial_i) F$$

が成り立つ. □

命題 1.5.  $f : (M, g_M) \rightarrow (N, g_N)$  を局所微分同相写像とする. このとき, 任意の点  $p \in M, f(p) \in N$  のまわりで

$$g_{ij}^M(q) = g_{ij}^N(f(q)) \quad (\forall q \in U)$$

をみたす局所座標がとれる.

証明. 直前の命題の通りに局所座標をとると,

$$\begin{aligned} g_{ij}^N(f(q)) &= g_{f(q)}^N(\delta_{i_{f(q)}}, \delta_{j_{f(q)}}) = g_{f(q)}^N(df \partial_{i_q}, df \partial_{j_q}) \\ &= (f^* g_q^N)(\partial_{i_q}, \partial_{j_q}) = g_q^M(\partial_{i_q}, \partial_{j_q}) = g_{ij}^M(q) \end{aligned}$$

□

命題 1.6.  $M$  の測地線の, 局所等長写像による像は  $N$  の測地線である.

証明. はじめの命題と同様の局所座標をとる. すると, クリストッフエル記号はリーマン計量によって決定されるので,  $\Gamma^{M^k}_{ij}(q) = \Gamma^{N^k}_{ij}(f(q))$  が成り立つ.  $M$  における測地線  $\gamma$  は

$$\partial_t^2(x^k \circ \gamma) + (\Gamma^{M^k}_{ij} \circ \gamma) \partial_t(x^i \circ \gamma) \partial_t(x^j \circ \gamma) = 0$$

なる  $(M, g)$  の測地線方程式を満たす. 従って, 曲線  $f \circ \gamma$  は

$$\begin{aligned} &\partial_t^2(x^k \circ f^{-1} \circ f \circ \gamma) + (\Gamma^{N^k}_{ij} \circ f \circ \gamma) \partial_t(x^i \circ f^{-1} \circ f \circ \gamma) \partial_t(x^j \circ f^{-1} \circ f \circ \gamma) \\ &= \partial_t^2(x^k \circ \gamma) + (\Gamma^{M^k}_{ij} \circ \gamma) \partial_t(x^i \circ \gamma) \partial_t(x^j \circ \gamma) = 0 \end{aligned}$$

となるので,  $(N, g_N)$  の測地線方程式をみたす. □